

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	さかいプレ保育士事業			事業番号	014-111
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保運営

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
			有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2	
			有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画					
3	事業開始年度	平成 29 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	保育士資格を有しながら、保育士等として就労していない者 (潜在保育士) 等	対象数	約76万 (全国)		
			単位	人		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	保育士不足の解消を図るとともに、保育サービスの供給体制の安定化を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	市内認定こども園等において実務研修や職場体験 (ボランティア保育士) を行うことで、教育・保育現場での勤務に対する不安の軽減やスキルアップを図り、就労意欲の向上につなげ、保育士確保の促進及び就労支援を行う。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	保育士・保育教諭等				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 参加者のうち、就職に至った者の数	人	目標値	25	25	25		
		実績値	0	0			
		達成率	0%	0%			
当該指標を選定した理由		安定した保育サービスの供給を測る指標として明確であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		参加者数目標値と同数					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
12 参加者数	人	目標値	25	25	25		
		実績値	0	0			
		達成率	0%	0%			
当該指標を選定した理由		成果を測る指標として明確であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		過去の目標値及び実績値をもとに算出					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	さかいプレ保育士事業	事業番号	014-111
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	168	0	408	0	384
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	168	0	408	0	384
14 人件費 (b)	1,980	0	2,000	0	2,000
15 年間経費(c)=(a)+(b)	2,148	0	2,408	0	2,384

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R3	決算
16 事業費内訳	謝礼金	R3	決算	0	0	R3	決算		
		R4	予算	150	150	R4	予算		
	その他	R3	決算	0	0	R3	決算		
		R4	予算	234	234	R4	予算		
		R3	決算			R3	決算		
		R4	予算			R4	予算		
		R3	決算			R3	決算		
		R4	予算			R4	予算		
	R3	決算			R3	決算			
	R4	予算			R4	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 参加者数	人	0	0
② 上記①にかかる年間経費	千円	0	0
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、事業は休止とした。事業再開後は効果的に実施し、参加者に就労に対する不安の軽減や、保育士の仕事を身近に感じてもらい、就労意欲の向上につなげることで保育人材の確保を推進する。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、実務研修や職場体験（ボランティア保育士）を行うことで、教育・保育現場での勤務に対する不安の軽減やスキルアップを図り、就労意欲の向上につなげ、就労支援を行うことで保育人材確保を推進するものであり、待機児童解消に寄与している。
----	--